



祝・秋の叙勲受章 国民スポーツ大会功労者表彰

11月3日発令の令和6年秋の叙勲において、市内から2人の方が栄えある受章をされました。また、国民スポーツ大会功労者表彰では矢板高校相撲部顧問の益子先生が表彰されました。

瑞宝小綬章 【農林水産行政事務】



菊池 博輝さん
(中)

1971年から農林水産省に入省され、北海道森林管理局次長などを歴任されました。

旭日双光章 【地方自治】



中村 久信さん
(泉)

2003年から矢板市議会議員を5期務め、議長などを歴任されました。

国民スポーツ大会 功労者表彰



益子 邦浩さん
(矢板高校)

選手・監督として、計30回以上国体相撲競技に出場しました。

祝・市政功労者表彰受賞

11月1日文化スポーツ複合施設で、市政功労者表彰式が行われ、長年にわたり各分野でご活躍された方や篤行に優れた方に対し、市長からこれまでの功績に対する感謝の言葉と共に表彰状が手渡されました。



*順不同・敬称略

各分野で功労顕著な方	
教育	人形劇サークル たんぽぽ 野村みどり
統計	植木 正夫
市政振興	株式会社フィデス
民生委員	関本ミネ子 村上久美子

篤行に優れた方	
保健衛生活動	矢板市健康づくり みどりの会
援護厚生 (老人給食)	池田ミチエ 石下きい子 粉川みき子 笹沼 弘子 白石 静子 外谷 珠恵 三好 東子 池田美由紀 石川 順子 及川 健二 齋藤 武一 白石 哲夫
人命救助	大谷 清 加藤 剣
寄附	大田原信用金庫

国指定天然記念物ミヤコタナゴ生息状況調査 昨年度より約17%減、456匹を確認

10月19日山田地区で、ミヤコタナゴ生息状況調査が行われました。調査は、水を抜いた池から網などで生き物をすくい上げ種類別に個体数を数えるもので、県水産試験場からは「ミヤコタナゴは減少したが、自然増減の範囲内。生息池周辺の環境は、山田ミヤコタナゴ保存会の尽力により安定している」と見解がありました。保存会会長は「次世代につなげられるよう、毎年この活動を続けたい」と話しました。



空地・空家や被災時のお困りごともお気軽に 栃木県司法書士会と協定締結

10月22日市役所で、市と県司法書士会との空地等対策及び災害時対策に関する協定締結式が行われました。これは、互いに連携・協力し空家等の予防や解消を図るとともに、災害時には法律的な困りごとなどに対応することで、生活環境の保全、市民の安全安心・不安解消を目的に結ばれたものです。高橋会長は「矢板市民の安全安心の一助となれるよう会として協力する」と話しました。



▲(左3番目から) 森島市長、高橋会長、鈴木副会長、松澤副会長、杉本理事、室井委員

共に創り、共に守り、共に解決する！ 厚労省栃木労働局と「雇用」に関する協定締結

10月22日市役所で、市と栃木労働局との雇用対策に関する協定締結式が行われました。これは、子育て・介護と仕事の両立支援や女性活躍の推進、雇用創出・確保など雇用に関する課題に、市と労働局が一体となって取り組むことを目的に結ばれたものです。川口栃木労働局長は「両方で運営協議会を設置し、情報交換を密に、雇用対策を推進していく」と話しました。



▲(左から) 森島市長、川口栃木労働局長、平井同局職業安定部長、苫米地矢板公共職業安定所長

郵便局と一緒に「安心」をお届け 日本郵便(株)と包括連携協定締結

10月22日市役所で、市と日本郵便(株)との包括的連携に関する協定締結式が行われました。これは、市と日本郵便(株)が互いの人的・物的資源を有効に活用し市民サービスの更なる向上を目的としたもので、見守り活動のほか、地域のさまざまな課題に対応可能な内容となっています。市長は「関係性をさらに密にし、『矢板モデル』となるような取り組みができるよう連携を深めていきたい」と話しました。



▲(左から) 矢板郵便局長、片岡郵便局長、森島市長、泉郵便局長、矢板本町郵便局長

やいたのカレー 好評発売中！



美味保証!
やいた黒カレー
1ケ 540円(税込)



定番の
あっぶるカレー
1ケ 432円(税込)

お土産

ご贈答

常備食

用途はいろいろ。
お求めは、
市内取扱店で！

問い合わせ/矢板市商工会 ☎(43) 0272



矢板中央高校女子バスケットボール部優勝 ウィンターカップで勝利を目指す

11月4日、第77回全国高校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）栃木県予選の決勝戦が行われ、矢板中央が白鷗大足利に73-68で勝利し、12月に開催される全国大会への切符を手に入れました。苦しい時間帯にスリーポイントシュートを決めるなど活躍したキャプテンの小川 希来選手は、「苦しい時間帯もあったけど、みんなで声を掛け合って一丸となったことが勝利につながった」と笑顔で話してくれました。



2年連続 14 回目の全国へ 矢板中央高校サッカー部が激闘を制する

11月16日、第103回全国高校サッカー選手権大会栃木大会決勝、矢板中央対國學院栃木戦が行われました。先制を許す展開も前半のうちに追いつき1-1、延長戦でも決着つかずPK戦へ。最後はキャプテンの佐藤 快風選手がきっちり決め、矢板中央が全国大会出場を決めました。佐藤キャプテンは試合後「課題の多い試合だった。チーム全体としてさらに成長していきたい」と話し、早くも全国大会に視線を向けました。



県内初開催で東小 5 年生が快挙！ U-16 プログラミングコンテスト栃木大会開催

11月10日生涯学習館で、第1回 U-16 プログラミングコンテスト栃木大会が開催されました。HCC ソフト（株）などがスポンサーとなり県内初開催されたもので、小学2年生から高校1年生まで総勢15人がエントリーし、作品部門と競技部門の2部門が行われました。作品部門では東小5年生の大谷 月輝さんが見事優勝を果たし、「作品発表は緊張しました。受賞はまさか私が!?と驚いたけどうれしい」と笑顔で話しました。



高校生として初の快挙！ 矢板高校フェーズフリーアワードで最高賞

11月13日、「第4回フェーズフリーアワード」アイデア部門で最高賞を受賞した矢板高校農業経営科の生徒が市長に受賞報告しました。普段の生活で使うものなどを非常時にも役立てる考え方が問われるコンテストで、自校の放牧場を災害時に地域の家畜を受入れられるよう態勢整備した点などが評価され、受賞となりました。高校生が同賞を受賞するのは初の快挙で、複数年にわたる取り組みが実を結びました。



明治安田生命から、矢板への想いを込めて 社員からの募金を寄附

11月15日市役所で、明治安田生命保険相互会社様から市に対して71万1,700円の寄附がありました。これは、同社が地域貢献活動として実施している「私の地元応援募金」により、矢板市にゆかりのある同社社員の善意によって集められたものです。川口宇都宮支社長は「社員の想いの詰まった寄附。少しでもお役に立ててもらえれば」と話しました。寄附は子ども未来基金に積み立て、教育支援のために活用されます。



▲（左から）森島市長、川口宇都宮支社長

協定でつながるライフライン 災害時には電力も地産地消

11月15日市役所で、金精川水力発電所合同会社との災害時等における電力供給に関する協定締結式が行われました。この協定は、災害時等に合同会社が発電した電力をポータブル電源に充電し、避難所などに電源として配付するものです。宮澤金精川水力発電所合同会社代表社員は「発電会社として地域に貢献できればと思いオファーした」と話し、森島市長は「非常時には大変心強く、ありがたい協定」と話しました。

災害時等における電力供給に関する協定締結式



▲（左から）森島市長、宮澤代表社員、赤羽協業事業者

リクルートと包括連携協定を締結 協定事業としてセミナーも開催

11月15日市役所で、（株）リクルートとの経済活性化に向けた雇用促進と生産性向上に関する包括連携協定締結式が行われました。この協定は、市内企業の採用力強化や、DXの推進などをサポートすることで、市内企業の雇用促進・生産性向上による市内経済の活性化を目的としています。

協定に基づき、次の日程で無料セミナーが開催されます。ぜひご参加ください。

日時／12月16日（月）14：00～16：00

場所／文化スポーツ複合施設 アリーナ

対象／市内事業者 定員／100社程度 ＊先着順

申込方法／申込フォームまたは電話、窓口まで

申込締切／12月13日（金）12：00

問い合わせ／商工観光課 ☎（43）6211



▲（左から）森島市長、鈴木 Division 統括本部 HR 本部 HR サービス Division ソーシャルソリューションデザイン部長

